



令和7年度

川俣町の わかりやすい 予算



川俣町



町では、町の予算の概要と主な事業について、町民の皆さんにお気軽にご覧いただけるよう、本書『川俣町のわかりやすい予算』を作成しております。

令和7年度は、第6次川俣町振興計画の3年目として、町の将来像である「みんなの笑顔と若い活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち」を実現するため、引き続き前期基本計画における4つの重点施策に関連する事業を中心として、必要な予算を配分し、振興計画に掲げる6つの基本目標の達成に向けて取り組んでまいります。

重点施策の「子育て支援」においては、認定こども園及び小・中学校の利用料・給食費の完全無償化を継続し、子育て世代の経済的負担の軽減に引き続き取り組みます。また、不育症の治療費への補助、生後1か月児健診等を新たに実施し、子育て環境のさらなる充実を図るとともに、川俣高校魅力向上推進事業については、学生寮の運営をスタートし、親元を離れ、新生活に不安を抱える生徒に対し、安心な生活をサポートします。

「活力ある産業」においては、貸事業所整備事業を確実に竣工し、中心市街地の活性化と新たな産業・雇用の創出を図るとともに、地域おこし協力隊のさらなる活用や、農業担い手育成のための各種支援金制度の創設により、商・工・農業の一層の振興を図ります。

また、町の代表的な里山である花塚山について、老朽化した東屋の建替えや峠の森自然公園案内看板の更新等の一体的な整備を行い、富士山の見える北限の山としての花塚山の魅力を発信してまいります。

「移住・定住」においては、引き続きワンストップ相談窓口の設置や移住者に対する各種支援金の交付を継続しながら、イベント等を通じて町外に向けた情報発信を積極的に行い、移住・定住を促進します。

「みんなの生きがいづくり」においては、中央公民館において、老朽化したホールの音響設備の更新を行うとともに、合宿所においては、利用者へのおもてなし向上事業として、地元の食材を活用した食事の提供を開始します。

また、町合併70周年とアルゼンチン共和国コスキン市との姉妹都市提携を記念し、記念式典や記念講演・フォルクローレコンサート等を盛大に開催します。

原子力災害からの復旧・復興事業においては、第2期復興・創生期間の最終年度として、山木屋地区に新たに防災拠点となる施設の整備を行うとともに、仮置場返還工事等の継続事業の完了を目指してまいります。

そのほか、デジタル窓口や電子図書館の運用開始をはじめとしたDXのさらなる推進や、伊達地方消防署南分署建替えのための敷地造成や自主防災組織への補助等による防災力の強化など、今の時代にふさわしい多様なアプローチによる事業を展開してまいります。

本書をご一読いただき、今年度の町の予算や各種事業について、理解を深めていただければ幸いです。どうぞご覧ください。

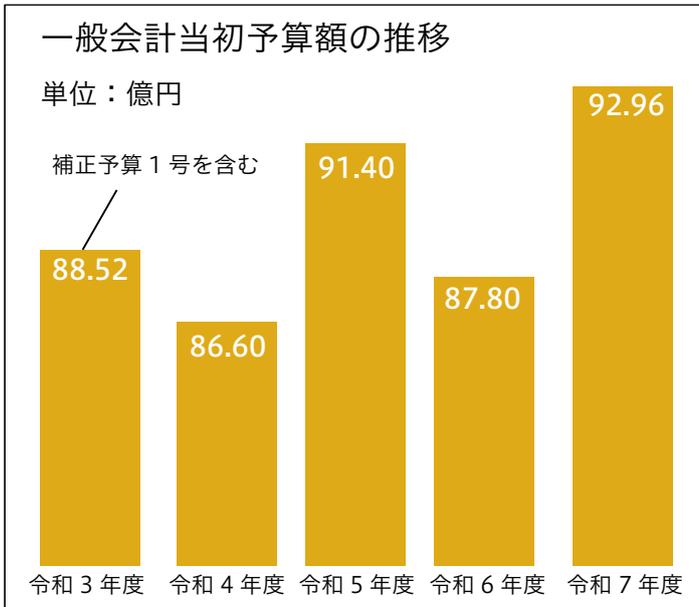
令和7年5月
川俣町長 藤原 一二



一般会計の予算規模

町民の皆さんに密接に関連する基本的な行政サービスの収入と支出を経理する「一般会計」の令和7年度当初予算は、92億9,600万円となり、前年度当初予算額87億8,000万円に比べ、5億1,600万円、率にして5.9%の増額となりました。

予算額	前年度対比（増減額）
92億9,600万円	5億1,600万円



基礎知識①

予算って何ですか？

予算とは、町の1年間の収入と支出の計画です。新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積ります。これらの内容をまとめたものが予算書です。川俣町に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼びます。

その他の会計の予算規模

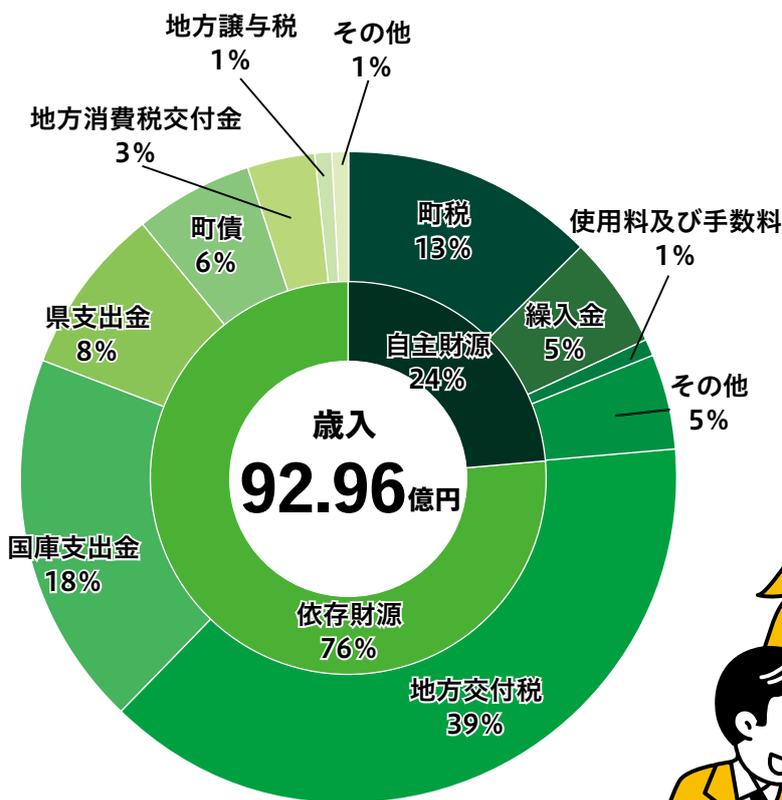
特定の目的や事業に関する収入と支出を経理する「特別会計」と、町が運営する公営企業の収入と支出を経理する「企業会計」の令和7年度当初予算は、下記のとおりです。

区分	予算額	前年度対比（増減額）	事業内容	
特別会計	国民健康保険特別会計 事業勘定	14億5,674万7千円	▲1,325万1千円	国民健康保険に加入している方の医療費等の給付
	国民健康保険特別会計 施設勘定	1,809万3千円	273万1千円	山木屋診療所の管理等
	介護保険特別会計	20億6,159万1千円	1,816万6千円	65歳以上の要介護・要支援者の方への保険給付
	後期高齢者医療特別会計	2億2,124万6千円	1,190万2千円	75歳以上の方への医療費等の給付
	奨学資金特別会計	1,281万7千円	▲3万1千円	奨学資金の貸与事業
	工業団地造成事業特別会計	2,212万6千円	▲3,032万9千円	中山・西部工業団地などの管理費等
	財産区特別会計（5財産区）	4,422万3千円	189万6千円	小島、飯坂、大綱木、小綱木、山木屋の財産管理
公営企業会計	水道事業会計（収益的収入）	2億6,274万5千円	▲22万4千円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理

一般会計歳入予算

令和7年度一般会計当初予算における歳入予算の内訳は、下記のとおりです。

項目	説明	金額	前年度対比（増減額）
自主財源	町が自主的に調達できる収入	22億1,027万9千円	▲8,590万4千円
町税	町に納めていただく税金	11億8,014万9千円	1,247万円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益者の皆さんに負担していただくお金	3,469万3千円	82万円
使用料及び手数料	施設利用や証明書を発行する際にいただくお金	7,637万2千円	314万7千円
繰入金	各種基金（預金・運用資金）の取り崩しや特別会計から収入するお金	5億323万4千円	▲2億4,548万円
その他	寄附金、町の財産貸付収入、前年度からの繰越金、その他の諸収入金	4億1,583万1千円	1億4,313万9千円
依存財源	国・県からの交付、割り当てられる財源や町債（借金）	70億8,572万1千円	6億190万4千円
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国に納めた税金の一部を国が町に再配分するお金	40億5,288万5千円	3億5,471万5千円
国・県支出金	皆さんが国や県に納めた税金の一部（使い道は決められています）	24億8,953万6千円	1億9,622万6千円
町債	国や銀行等からの借入れ（借金）	5億4,330万円	5,096万3千円
計		92億9,600万円	5億1,600万円



基礎知識②

予算は誰が決めるの？

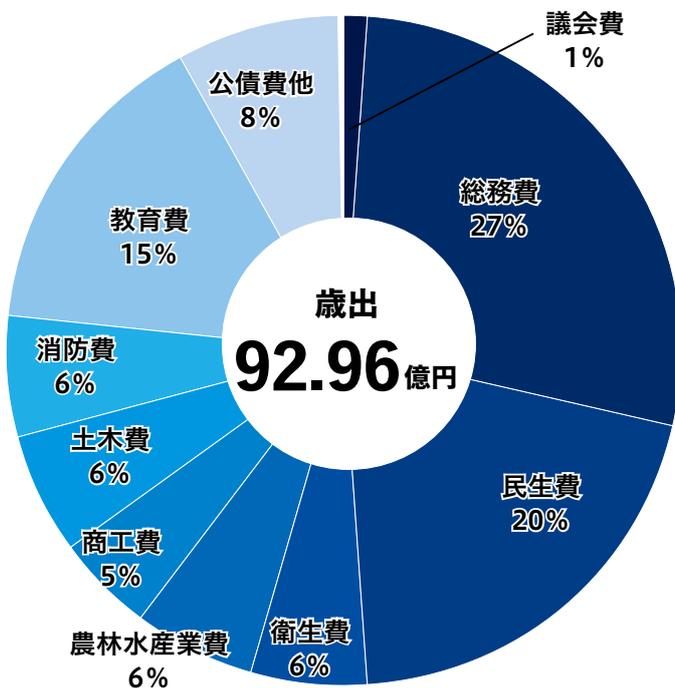
町長は、各担当課で見積った歳入・歳出の案をまとめて、予算案を町議会に提出します。提案された予算案を町議会でのいろいろな面から審議し、最終的に議決により予算が決定されます。



一般会計歳出予算【目的別】

令和7年度一般会計当初予算における、お金を使う目的別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

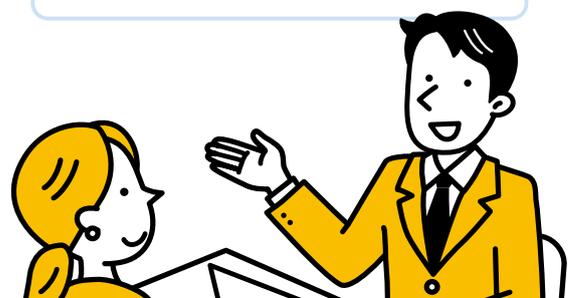
項目	説明	金額	前年度対比 (増減額)
議会費	議員報酬や議会議務局職員の人件費などの議会運営に使うお金	1億 1,332万 9千円	342万 9千円
総務費	財政、税務、戸籍、選挙、交通対策及び原子力災害対策など町政全般の管理運営に使うお金	25億 5,731万 2千円	9億 3,570万 7千円
民生費	児童・高齢者・障がい者などの福祉や地域医療対策、子育て支援及び社会福祉協議会との連携などに使うお金	18億 9,724万 5千円	6,299万 6千円
衛生費	検診や予防接種などの保健衛生や循環型社会の形成、地球温暖化対策、ごみ処理などの環境保全及び火葬場運営に使うお金	5億 1,729万 8千円	▲1億 9,537万円
農林水産業費	農業・林業・畜産の振興や有害鳥獣対策、森林整備や農道・林道などの新設・維持管理に使うお金	5億 2,107万 8千円	1,727万 6千円
商工費	商工業の振興や観光、移住・定住、道の駅や工業団地の管理などに使うお金	4億 4,148万 5千円	▲5億 7,158万 3千円
土木費	道路、河川、公園及び公営住宅などの新設・維持管理や空家対策などに使うお金	5億 5,329万 8千円	1,554万 6千円
消防費	屯所の整備などの消防団に係る経費や火災、風水害、地震等への防災・災害対策に使うお金	5億 4,743万 5千円	9,632万 9千円
教育費	認定こども園、小・中学校、学校給食センターや公民館、体育施設など教育・文化・スポーツ振興に使うお金	14億 881万円	1億 7,723万 6千円
災害復旧費	地震や台風などの災害により被災した施設の復旧に使うお金	0円	▲5千円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金（町債）の返済に使うお金	7億 1,871万円	▲2,556万 1千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	0
計		92億 9,600万円	5億 1,600万円



基礎知識③

予算案って どうやって作るの？

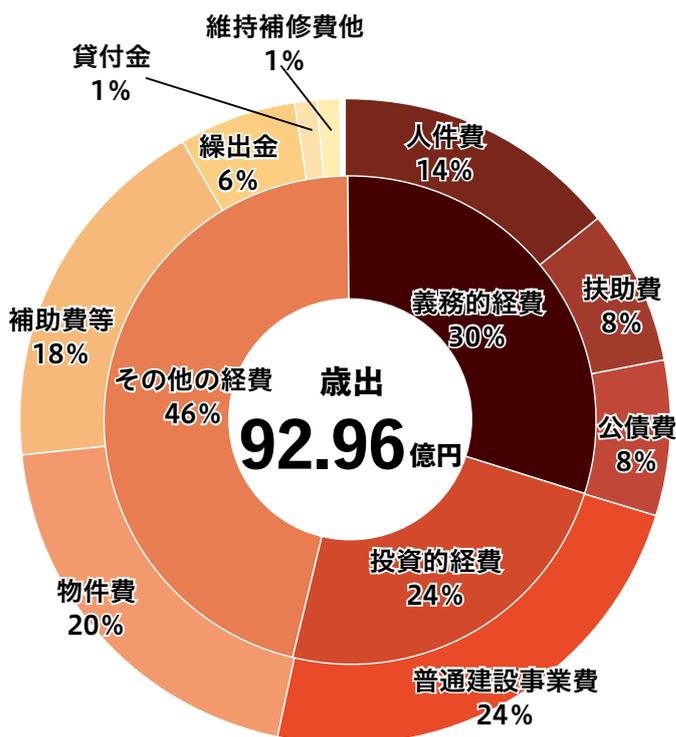
町長の政策方針を基本に、財政状況や町が定めているさまざまな計画などにそって作成します。限られた財源を有効活用するため、事業実施の優先順位をつけることがとても重要になります。



一般会計歳出予算【性質別】

令和7年度一般会計当初予算における、お金を使う性質別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

	説明	金額	前年度対比 (増減額)
義務的経費	法令などに基づき毎年必ず支出する経費	27億6,338万3千円	9,951万2千円
人件費	議員報酬や委員報酬、職員の給料などに使うお金	13億2,436万円	9,788万3千円
扶助費	児童や生活困窮者などを援助するために使うお金	7億2,031万3千円	2,719万円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金の返済に使うお金	7億1,871万円	▲2,556万1千円
投資的経費	道路や建物などの社会資本の整備にかかる経費	22億274万2千円	5億5,028万1千円
普通建設事業費	道路や公共施設の整備に使うお金	22億274万2千円	5億5,028万6千円
災害復旧事業費	災害により被災した施設の復旧に使うお金	0円	▲5千円
その他の経費		43億2,987万5千円	▲1億3,379万3千円
物件費	光熱水費、消耗品、委託料などに使うお金	18億6,503万3千円	▲1億620万6千円
補助費等	各種団体への補助金や負担金	16億9,966万8千円	190万3千円
繰出金	特別会計の収入を補うために支出するお金	5億5,594万5千円	▲3,650万9千円
維持補修費	道路や公共施設の維持管理に使うお金	1億円	0
貸付金	中小企業の経営合理化のため町が貸付するお金	6,226万円	67万8千円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金	2,696万9千円	634万1千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	0
計		96億9,600万円	5億1,600万円



基礎知識④

一度決められた予算は 変えられないの？

地震や台風等の自然災害が発生した場合等、想定外の経費増加がある場合には、それに対応するため変更の予算案を作り、当初予算と同じように町議会へ提出し、審議のうえ議決により補正予算が決定されます。補正予算は、通常は、6月、9月、12月、3月の定例町議会に提案しますが、定例町議会以外にも、臨時議会での議決により予算を変えることもできます。

第6次川俣町振興計画とまちの予算

川俣町振興計画とは

町の総合的な指針であり、目指すべきまちづくりの方向性を示す計画です。町では、令和5年度から令和16年度を期間とする『第6次川俣町振興計画』を策定しております。

振興計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成され、「基本構想」は令和16年度を目標とし、まちづくりの基本的な理念を定めています。

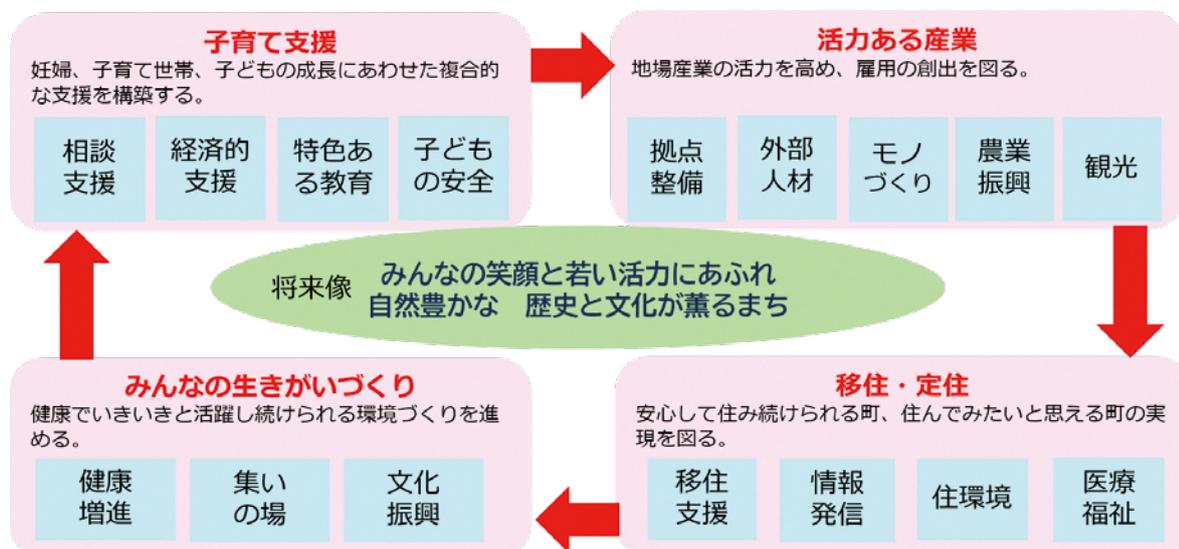
「基本計画」は6年ずつ前期、後期に分けられており、令和5年度から令和10年度を期間とする前期基本計画においては、特に重点的かつスピード感を持って分野横断的に推進していくべき4つの重点施策と、まちづくりを総合的に推進していくうえで目指すべき6つの基本目標を定めています。

また、国が推進する「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、デジタル技術を活用し、社会課題の解決や町の魅力向上の取組を進めていくこととしております。

町はそれらの重点施策と基本目標をもとに様々な事業を推進し、町が目指す将来像である『みんなの笑顔と若い活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち』の実現を目指しております。

妊娠から入学まで、子どもの成長に合わせた複合的な「子育て支援」をスタートとして、「活力ある産業」の振興により、雇用の創出を図るとともに、町内外からの「移住・定住」を推進し、みんなが健康でいきいきと「生きがいつくり」ができるよう、各施策を展開することにより他の施策に好循環をもたらし、町の発展や町民の活動・交流の広がりにつながるよう努めます。

【第6次川俣町振興計画における4つの重点事業】



子育て支援

少子高齢化と人口減少による活力低下をくい止め、持続可能な社会を実現するため、子どもを産み育てるための様々な支援や環境を充実させ、次世代の人材を確保していきます。

若い世代をはじめとして、出会い、結婚から出産、子育てのあらゆる段階における支援の充実を図ります。さらに、次世代を担う子どもたちが心も身体も健全にすくすくと成長し、豊かな学びを得ることができるよう取組を総合的に推進します。

継続 新規 こども家庭センターの設置

予算 1,009万6千円 財源 補助 564万円
町 445万6千円

妊婦、子育て世帯、子ども本人に対しての一体的な相談支援体制を整備し、妊産婦へのタクシー代の助成、子育て応援交付金の交付などを行います。新規事業として、妊娠判定のための初回産科受診料への補助を実施します。



継続 認定こども園利用料の無償化

予算 3,433万5千円 財源 町 3,343万5千円

継続 小・中学校給食費の無償化

予算 4,186万5千円 財源 町 4,186万5千円

認定こども園の利用料、給食費及び町内小・中学校の給食費を完全無償化します。



継続 新規 川俣高校の魅力向上

予算 2,676万8千円 財源 補助 199万9千円
町 2,476万9千円

地域みらい留学を活用した全国生徒募集やフェンシング教室などの特色のある教育の実施により、川俣高校の魅力向上を推進します。新規事業として、学生寮の運営を開始し、安心な学生生活をサポートします。



継続 新規 「確かな学力」の向上

予算 150万9千円 財源 町 150万9千円

児童・生徒の学力向上を目的として、土曜日及び夏休みに学習講座を実施します。新規事業として、学校に足が向かない生徒への学びの場の提供を行います。



※その他、町が実施している子育て支援事業の段階別一覧については、17ページをご覧ください。

II

活力ある産業

本町に魅力を感じて暮らし続けられるよう、地場産業の活力を高め雇用機会の創出を図ります。

中心市街地の活性化や既存産業の経営基盤の強化に加え、福島イノベーション・コースト構想との連携や企業誘致、起業支援による新たな産業の創出に向けた取組を推進します。また、充実した就労環境を確保するための取組を推進します。

新規 花塚山の整備

予算 **5,214万3千円** 財源 補助 2,607万1千円
借入 2,340万円
町 267万2千円

町の代表的な里山である花塚山について、老朽化している東屋の建替え、峠の森案内看板の更新、登山道の修繕等の一体的な整備を行い、観光資源としての魅力向上を図ります。



継続 貸事業所の整備・運営

予算 **3億7,633万8千円** 財源 補助 2億6,447万8千円
町 1億1,186万円
(うち令和6年度からの繰越予算: 3億5,263万8千円)

新規事業化に取り組む外部企業や町内事業者の活動拠点となる貸事業所を整備・運営開始し、中心市街地の活性化と雇用の創出を図ります。



継続 新規 担い手育成総合支援事業

予算 **1,996万9千円** 財源 補助 1,982万5千円
町 14万4千円

農業担い手の確保のため、新規就農者へ支援金を交付します。新規事業として、地域計画に位置付けられた認定農業者等への機械・施設導入費への補助を行います。



継続 モノづくりの活性化

予算 **385万円** 財源 補助 288万7千円
町 96万3千円

産官学で連携したモノづくり技術の継承と革新を図ります。



継続 地域魅力向上・発信事業

予算 **3,847万5千円** 財源 補助 1,920万8千円
町 1,926万7千円

里山ツーリズムの実施やサイクル&ウォーキング大会の開催などを通して、町外に向けた町の魅力発信を行います。



移住・定住

本町に住まう人々が住み慣れた地域で暮らし続けたいと思うまちづくりを進め、生活の様々な場面において快適な環境を確保し、定住を促進します。

また、本町の個性や魅力を広く効果的に発信し、町外からの移住を促進するとともに、町外に住みながら本町へ定期的に通うサテライトオフィスやワーケーションなど多様な町外人材との新たな関わりを創出する取組を推進します。

新規

宅地の造成・分譲事業

(廃園跡地の利活用)

予算 3,865 万円 財源 借入 3,480 万円
町 385 万円

旧川俣幼稚園跡地を宅地として整備し、分譲します。



継続

移住・定住促進事業

予算 1 億 560 万 2 千円 財源 補助 6,674 万 3 千円
町 3,885 万 9 千円

移住・定住に係る情報発信やワンストップ相談窓口の運営、体験農園の運営、移住体験ツアーの実施、町外からの移住者に対する支援金の交付などを行います。



継続

地域おこし協力隊の受け入れ・活用

予算 8,255 万円 財源 町 8,255 万円

地域活性化や農業等に従事する地域おこし協力隊の受け入れ・活用を行います。新規事業として、地域おこし協力隊及び任期満了者が町内で起業や事業継承する場合に支援金を交付します。



新規

地域おこし協力隊の起業・事業継承支援

予算 1,100 万円 財源 町 1,100 万円

みんなの 生きがいづくり

誰もがまちづくりを支える担い手として、いきいきと活躍し続けることができる環境づくりを進めます。年代や性別に関係なく、住民一人ひとりが社会の一員として生きがいをもって、暮らしていくことができるよう、多角的な取組を推進します。

様々な交流や地域活動への参画、生涯学習による学び続けることができる環境づくり、スポーツへの参加促進など、活躍の場や機会の拡大を推進します。

新規 合併70周年記念事業

予算 **1,350万9千円** 財源 町 1,350万9千円



新規 コスキン市姉妹都市提携記念事業

予算 **93万5千円** 財源 町 93万5千円

昭和30年の川俣町合併から70周年の節目と、アルゼンチンコスキン市との姉妹都市提携を記念し、記念式典や記念イベントの開催、記念誌の作成等を行います。

新規 ふくしま緑の百景歩こう会の開催

予算 **250万円** 財源 町 250万円

町合併70周年を記念して、福島民報社との共催による「ふくしま緑の百景歩こう会」を開催します。



継続 大綱木公民館整備事業

予算 **6,470万4千円** 財源 借入 6,460万円
町 10万4千円
(うち令和6年度からの繰越予算: 565万4千円)

老朽化が進んでいる大綱木公民館の建替えのための敷地造成工事を行います。



新規 中央公民館ホール音響設備の改修

予算 **7,470万1千円** 財源 補助 3,612万3千円
借入 3,850万円
町 7万8千円

中央公民館ホール音響設備のグレードアップ改修を実施します。



新規 川俣町合宿所のおもてなし向上

予算 **41万6千円** 財源 町 41万6千円

川俣町合宿所を利用される方へ町内産農産物等を使った食事の提供を行います。



その他の重点事業

DXの推進

デジタル技術を積極的に取り入れ、どの世代にも使いやすい行政サービスの向上を図ります。

新規 デジタル窓口の開設

予算 150万1千円 財源 町 150万1千円

オンラインにより役場に行かずに行政に関する問い合わせ・相談ができる「デジタル窓口」をスタートします。



新規 公金収納事務の効率化

予算 990万円 財源 補助 495万円 町 495万円

会計窓口セルフレジを導入し、公金収納事務の効率化を図ります。

防災・減災・公共インフラの強化

頻発化、激甚化する自然災害から町民の生命・財産と暮らしを守るため、防災・減災力の強化及び老朽化の進む公共インフラの整備・維持補修を図ります。

新規 伊達地方消防組合中央消防署南分署の建替え

予算 1億4,164万7千円 財源 町 1億4,164万7千円

消防署南分署建替えのため、敷地の造成を行います。
(※南分署新築工事は伊達地方消防組合が実施します。)



継続 自主防災組織の強化・支援

予算 150万円 財源 補助 75万円 町 75万円

自主防災組織の資材購入や防災活動に対し、補助金を交付します。

新規 公共施設の改修

予算 4,088万5千円 財源 補助 670万円 借入 1,640万円 町 1,778万5千円

老朽化により雨漏りが発生している公共施設の屋根の改修を実施します。

循環型社会・地球温暖化対策の推進

循環型社会や脱炭素社会の実現に向け、ごみ減量化の推進や再生可能エネルギーの普及促進を図ります。

拡充 合併処理浄化槽の設置促進

予算 3,030万3千円 財源 補助 1,434万2千円 町 1,596万1千円

生活排水のさらなる向上のため、合併処理浄化槽設置補助について、共同住宅まで補助対象を拡大します。



継続 ごみ減量化の推進

予算 93万4千円 財源 町 93万4千円

生ごみ処理容器の設置補助や資源回収団体への報奨金交付、ごみ減量化講座の開催等により、ごみの減量化を図ります。

原子力災害からの復旧・復興

山木屋地区のコミュニティ再生維持に向けた事業を展開しながら、第2期復興創生期間の終了を見据えた継続事業の完了を目指します。

継続 山木屋地区防災拠点施設の整備

予算 9億9,558万9千円 財源 補助 7億4,669万1千円 町 2億4,889万8千円

将来にわたり町民の安心安全な生活を支える防災拠点施設を整備します。

《基本目標別 令和7年度の主な事業》

事業名		新規・継続・ 拡充	
	担当課	総務課	
	事業費	80,000 千円	
	財 源	補助	20,000 千円
		借入	45,000 千円
		町	15,000 千円
事業内容の説明			

令和7年度に要する事業費

国や県から入る補助金

国や銀行等から借り入れするお金（町債）

皆さんからの税金や積立した基金など
町が自主的に調達できるお金

この表の見方

基本目標 1

みんなで助け合いながら
自分らしく生きるまち

地域づくりの主役は住民であるという基本認識のもと、互いに支え合う地域活動を活性化するための支援を行います。一人ひとりが地域活動への関心を高め、自治会等の地域の活動を基盤としてお互いに助け合いながら地域課題の解決やより良い地域社会の実現に取り組んでいきます。また、性別や年齢、出身地や障がいの有無などを超え、多様な背景を認め合い誰もが自分らしく生きることができると社会を構築します。

勤怠管理のデジタル化		新規	
	担当課	総務課	
	事業費	520 万 5 千円	
	財 源	補助	—
		借入	—
		町	520 万 5 千円
事務の効率化やペーパーレス化のため、役場本庁舎における職員の勤怠管理システム等を導入する。			

永年保存文書のデジタル化		継続	
	担当課	総務課	
	事業費	110 万円	
	財 源	補助	—
		借入	—
		町	110 万円
町の事務事業に係る永年保存文書を電子ファイルとして保存する。			

財務伝票に係る電子決裁の導入		継続	
	担当課	財政課	
	事業費	545万6千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	545万6千円		

町の財務事務の効率化やペーパーレス化のため、電子決裁システムを導入する。

自治体情報システムの標準化・共通化		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	9,845万7千円	
	財源	補助	9,628万3千円
		借入	-
町	217万4千円		

町の様々な業務に使用する基幹システムについて、全国標準化・共通化のための環境整備を行う。

戸籍関連事務の効率化		新規	
	担当課	町民税務課	
	事業費	43万6千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	43万6千円		

戸籍関連事務の効率化のため、参考書籍のAI検索システムを導入する。

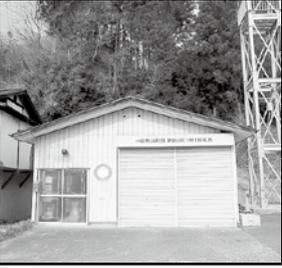
斎場予約システムの導入		新規	
	担当課	町民税務課	
	事業費	114万5千円	
	財源	補助	-
		借入	-
町	114万5千円		

インターネットで火葬予約が可能なシステムを導入する。

基本目標 2

安全で便利な生活と豊かな自然が共生するまち

日常生活の利便性を高めるための道路網や公共交通の充実、中心市街地の賑わい再生、ゆとりある暮らしのための住環境整備や公園、レクリエーションの場の確保など、特に若い世代にとって魅力を感じることのできるまちづくりを進めます。また、自然環境を貴重な資源として捉え、ふるさとの風土や里山などを守りつつ観光や交流促進において有効に活用していきます。さらに、世界的な取組である脱炭素化への取組として、住民生活や生産活動の様々な場面において二酸化炭素排出抑制を推進します。

消防設備の強化		継続	
	担当課	総務課	
	事業費	2,463万6千円	
	財源	補助	-
		借入	1,420万円
町	1,043万6千円		

老朽化している消防屯所の建替え及び消防積載車の更新を行う。

地域公共交通の活性化		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	3,864万円	
	財源	補助	494万3千円
		借入	-
町	3,369万7千円		

路線バス維持のための補助金の交付や、デマンドタクシーの運行を行う。

井戸掘削事業への補助		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	1,000 万円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		1,000 万円		
飲用水確保のための井戸の掘削費用に対し補助を行う。				

橋りょうの長寿命化		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	8,142 万 2 千円		
	財源	補助	1,663 万 2 千円	
		借入	2,620 万円	
町		3,859 万円		
橋りょう長寿命化のための補修及び PCB 被膜塗装の処分・塗り替えを行う。※改修箇所は次ページ参照				

町道の整備		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	1 億 7,926 万円		
	財源	補助	5,184 万円	
		借入	1 億 2,720 万円	
町		22 万円		
町道 6 路線の整備・改良を行う。 ※改修箇所は次ページ参照				

河川の維持補修		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	1,232 万円		
	財源	補助	-	
		借入	770 万円	
町		462 万円		
河川の防災及び正常機能維持のための改修工事を行う。				

空家対策事業		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	542 万 1 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		542 万 1 千円		
空家対策協議会の開催や、空家となっている住宅の解体費用への補助を行う。				

公営住宅の整備		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	3,247 万 2 千円		
	財源	補助	1,385 万 6 千円	
		借入	1,490 万円	
町		371 万 6 千円		
公営住宅の長寿命化のための修繕を行う。				

子ども見守り事業		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	171 万 7 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		171 万 7 千円		
スマートフォンアプリ「コマモル」による子ども見守りサービス（位置情報の通知）の提供を行う。				

再生可能エネルギーの普及促進		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	600 万円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		600 万円		
地球温暖化対策の推進のため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電池の設置費用に対し補助を行う。				

川俣町体育館の熱中症対策		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	170万3千円	
	財源	補助	-
		借入	-
	町	170万3千円	

夏季期間中、川俣町体育館メインアリーナに冷風機を設置する。

川俣町合宿所照明のLED化		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	1,815万円	
	財源	補助	-
		借入	1,630万円
	町	185万円	

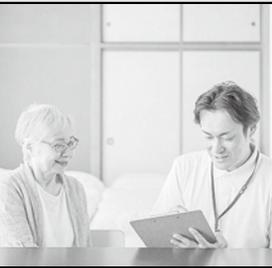
合宿所の照明のLED化改修を行う。



基本目標 3

子どもから高齢者まで 元気で安心して 暮らせるまち

子どもから高齢者までそれぞれのニーズに的確に応える福祉の充実を図り、各種取組をさらに推進します。加えて、医療や介護の専門職の人材を育成・確保し、質の高いサービスが提供できるように医療・介護の体制整備の充実を図ります。特に少子高齢化が急速に進展する中で、出産や子育ての希望をかなえることができる環境を総合的に整えていきます。これらの取組の展開にあたっては、行政サービスに加え地域全体での見守りや子育てなど、様々な場面で多様な人々との協力体制を構築していきます。

重層的支援体制整備事業			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	3,785万1千円		
	財源	補助	2,246万1千円	
		借入	-	
		町	1,539万円	
福祉・医療分野の連携、アウトリーチ、参加支援などの社会の変化に対応した支援体制を整備する。				

補聴器購入費用への助成			継続・新規	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	110万円		
	財源	補助	5万円	
		借入	-	
		町	105万円	
中等度難聴者及び新たに軽度・中等度難聴児の補聴器購入費用への補助を行う。				

地域医療の維持			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	8,500万円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
		町	8,500万円	
地域医療維持のため、公的病院である済生会川俣病院への補助を行う。				

健康増進事業			継続	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	115万7千円		
	財源	補助	86万7千円	
		借入	-	
		町	29万円	
里山を活用した健康教室を開催する。				

母子保健事業			継続・新規	
	担当課	保健福祉課		
	事業費	1,038万1千円		
	財源	補助	204万5千円	
		借入	-	
		町	833万6千円	
妊婦健診の実施ほか、新規事業として生後1か月児健診費用への補助、不育症治療費への補助を行う。				

わいわいクラブの運営			継続	
	担当課	子育て支援課		
	事業費	2,530万4千円		
	財源	補助	302万8千円	
		借入	1,400万円	
		町	827万6千円	
放課後における児童の健全育成のため、学童保育施設の運営を行う。				

ファミリーサポートセンターへの支援		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	329万1千円	
	財源	補助	133万2千円
		借入	-
町	195万9千円		
子育て支援事業を行う団体への補助や、0歳児がいる家庭へのファミサポ利用助成券の配布を行う。			

児童手当の支給		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1億6,762万円	
	財源	補助	1億5,096万5千円
		借入	-
町	1,665万5千円		
高校生世代までの子どものいる世帯に児童手当を支給する。			

おてひめわくわくランドの運営		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,782万3千円	
	財源	補助	1,175万1千円
		借入	-
町	607万2千円		
子どもの屋内遊び場の運営を行う。			



【令和7年度】町が行う子育て支援事業一覧

妊娠から出産、教育まで子育てのあらゆる段階における支援の充実を図ります。

	妊娠	出産	未就学児	小学生・中学生	高校生・大学生等
相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> こども家庭センターの開設 ※妊婦、子育て世帯、子ども本人に対する一体的な相談支援体制の構築 育児相談 ・子育てはっとステーション ・子育ておしゃべり会 				
経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> 妊産婦のタクシー利用の支援 出産応援給付金支給 ベビー用品配付 【新規】妊娠判定時産科初回受診料補助 【新規】不育症治療費補助 	<ul style="list-style-type: none"> 出産祝金支給 子育て応援給付金支給 ファミサポ利用券配付 【新規】生後1か月児健診費用補助 【新規】産後ケア利用料無償化 	<ul style="list-style-type: none"> ファミサポ利用半額助成 産後健診費用助成 認定こども園利用料・給食費無償化 	<ul style="list-style-type: none"> 入学祝金支給 学校給食費無償化 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金の貸与 ※卒業後、町内に居住・就業等する場合、返還を一部免除
特色ある教育			<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険料均等割の減免 【新規】軽・中等度難聴児の補聴器購入補助 	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想によるICT教育の実践 英検受験の支援 モノづくり体験講座の実施 英語コミュニケーションスキル研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 川俣高校の魅力向上推進 【新規】川俣高校学生寮の運営
放課後支援				<ul style="list-style-type: none"> 子ども見守りサービスの提供 【新規】かわまた学び塾（不登校児学習）の開講 わいわいクラブ（学童保育）の運営 かわまた学び塾（土曜学習）の開講 サマースクール（夏季休業学習）の開講 	

基本目標 4

充実した学びと 独自の文化を 創造するまち

教育の場における ICT 化とグローバル社会に対応する多様な教育システムの導入を引き続き進めていきます。一方で、本町が紡いできた歴史や文化、芸術に触れる機会の充実を図るとともに、心豊かにたくましく生きていくための力を育むことができるよう、家庭、地域社会との連携強化による教育力の向上に努めます。さらに、生涯学習や生涯スポーツ活動を積極的に推進するとともに、地域に根ざした文化、伝統などの保存、伝承に努め、地域の素晴らしさを後世に伝えます。また、歴史・伝統文化を情報発信し、町外人材との交流を進め関係人口を増加させます。

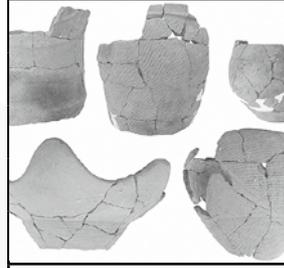
外国語教育の推進		継続		
	担当課	学校教育課		
	事業費	146 万 5 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		146 万 5 千円		
小・中学生の英検受検の支援及び外国籍児童・生徒への日本語教室を実施する。				

ICT 教育の推進		継続		
	担当課	学校教育課		
	事業費	3,675 万 9 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		3,675 万 9 千円		
小・中学校における ICT 教育 (GIGA スクール構想) の実践環境を整備する。				

中学校校舎の改修		新規		
	担当課	学校教育課		
	事業費	1 億 3,650 万円		
	財源	補助	4,166 万 6 千円	
		借入	7,030 万円	
町		2,453 万 4 千円		
川俣中学校の男子トイレの洋式化及び防火シャッターの改修を行う。				

文化団体記念事業		新規		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	107 万 6 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		107 万 6 千円		
川俣文化団体連絡協議会設立 50 周年、川俣美術設立 100 周年記念事業への補助を行う。				

図書サービスのデジタル化		新規		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	78 万 7 千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		78 万 7 千円		
蔵書検索システムの導入、子ども向け電子図書の貸し出しを行う。				

前田遺跡国史跡指定事業		継続		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	182 万 8 千円		
	財源	補助	91 万 4 千円	
		借入	-	
町		91 万 4 千円		
前田遺跡の国史跡指定に向け、確認調査位置図の作成等を行う。				

基本目標 5

産業と働く人が いきいきと輝くまち

農林業については、農林業従事者の高齢化と担い手不足が深刻化していることから、農業生産物の高付加価値化、新たな販路の開拓に努め、遊休・荒廃農地については農地の集約、有効活用により未利用地の解消を図ります。工業については、近年主力となっている輸送用機械、金属機械加工、電子・機械部品製造などの技術力の向上や人材育成の支援を図るとともに、雇用の場を創出するための企業誘致を展開します。商業については、中心商店街のにぎわいの再生、空き店舗や空き家の活用による新たな交流の場の創出を図ります。さらに観光については、地域の自然資源や歴史・文化資源を生かした活性化に取り組みます。

ふるさと納税の推進		継続		
	担当課	財政課		
	事業費	1,460万6千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		1,460万6千円		

町へのふるさと納税を推進するため、返礼品の新規開発やPR活動を行う。

観光振興事業		新規		
	担当課	政策推進課		
	事業費	10万5千円		
	財源	補助	-	
		借入	-	
町		10万5千円		

駒ヶクラにライブカメラを設置し、開花状況をリアルタイムで配信する。

有害鳥獣被害対策		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	2,979万円		
	財源	補助	554万3千円	
		借入	-	
町		2,424万7千円		

イノシシやニホンザルによる農作物の被害防止のための捕獲事業への補助等を行う。

農業用水路の維持修繕		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	1,300万円		
	財源	補助	-	
		借入	1,000万円	
町		300万円		

農業用水路の維持修繕を図る。

林道の整備		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	905万円		
	財源	補助	-	
		借入	600万円	
町		305万円		

林道の整備・維持補修を行う。
※改修箇所は15ページ参照



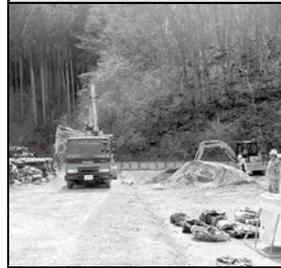
基本目標 6

原子力災害からの 復興を目指すまち

放射線に対する不安がなく、安全・安心に暮らすことができるよう、仮置場の原状回復に努めるとともに、必要な除染や放射線モニタリングを継続します。また、産業復興として、農林業や観光に今なお残る風評の払拭、ALPS 処理水などにより懸念される新たな風評への防止対策に取り組みます。さらに、被害を受けた事業者が事業を再開・継続できるよう支援を行います。

山木屋地区においては、地域の活力とコミュニティの再生に向けて、引き続き各方面からの復興を進めます。また、復興拠点商業施設「とんやの郷」を拠点として、避難者をはじめ町内外との多様な交流機会を創出し、地域の絆とにぎわいの再生を図ります。

営農再開への支援			継続	
	担当課	農林振興課		
	事業費	8,201 万円		
	財源	補助	8,201 万円	
		借入	-	
町		-		
除染後農地の保安全管理、有害鳥獣被害防止対策等の営農再開への支援を行う。				

除染対策事業			継続	
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	1億4,491万1千円		
	財源	補助	1億4,491万1千円	
		借入	-	
町		-		
空間放射線量モニタリングや、除染廃棄物仮置場返還工事等を実施する。				

住民支援事業			継続	
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	600万5千円		
	財源	補助	264万円	
		借入	-	
町		336万5千円		
避難者への情報発信や、山木屋地区コミュニティ維持再生のためのイベントの開催等を行う。				

食品のモニタリング			継続	
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	4,642万9千円		
	財源	補助	4,594万5千円	
		借入	-	
町		48万4千円		
食品の放射性物質モニタリング及びモニタリング結果の情報発信を行う。				



川俣町の将来像と基本目標(第6次川俣町振興計画より)

将来像

みんなの笑顔と若い活力にあふれ
自然豊かな 歴史と文化が薫るまち

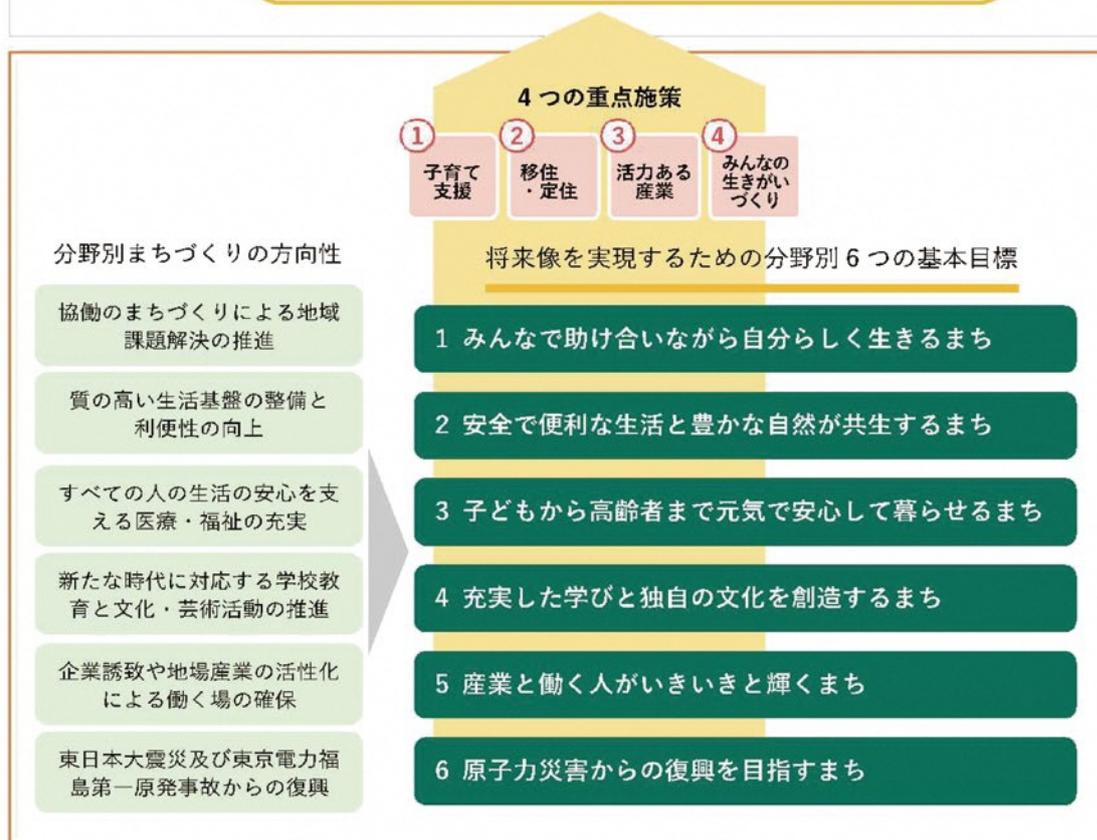
キャッチフレーズ

グッとスマイルかわまた

基本理念

人口減少社会においても持続可能な活力ある地域社会の創出

- (1) 活力を次世代につなげる
- (2) 活力を育てる
- (3) 活力を生み出す



川俣町のわかりやすい予算 令和7年度版



発行年月日: 令和7年5月

発行・お問い合わせ先: 川俣町財政課